

(5) 特別プログラム

特別プログラムとは、グローバル教育科目、日本語教育科目、リメディアル科目、特別課題科目という4つのプログラムの総称で、全学共通の科目です（すべて選択科目）。特別プログラムの修得単位数のうち、リメディアル科目以外の修得単位数については、他学部・他学科聴講の修得単位数と合計して30単位まで卒業要件単位数に含めることができます。

開講科目一覧は、以下のとおりです。各プログラムの詳細は、P.94～95をご覧ください。

分野	授業科目	単位数	週時間数				英語で開講	備考
			一年次	二年次	三年次	四年次		
グローバル教育科目	Environment and Agriculture	2	F2				○	【初級】 Basic 大学1年～2年生推奨 (recommended for 1～2 Year students)
	Forest and Forestry※1	2	F2				○	
	Agro-Environmental Engineering※3	2	L2				○	
	Global Food Systems	2	F2				○	
	Introduction to Japanese Linguistics	2	F2				○	【中級】 Middle 大学2年～3年生推奨 (recommended for 2～3Year students)
	Agriculture and Economic Development	2	F2				○	
	Plants for Landscape Architecture※2	2	F2				○	
	Comparative Developing Agriculture	2	L2				○	
	Ecology and Agricultural Production	2	L2				○	
	Food and Health 1	2	F2				○	
	Planning and Design of Landscape Architecture※2	2	F2				○	
	Japanese Food Culture※2	2	L2				○	
	Global Bioindustrial Studies	2			F2		○	
	Agroecology and Food Production	2	L2				○	
	Food and Health 2	2	L2				○	【上級】 Advanced 大学3年～4年生推奨 (recommended for 3～4Year students)
	Molecular Biology and Biotechnology	2			L2		○	
	Introduction to Life Sciences emphasizing Chemistry and Microbiology	2			L2		○	未定TBD

※1 実習を伴う

※2 視察を伴う

※3 前期の「Environment and Agriculture」を履修していることが望ましい。

分野	授業科目	単位数	週時間数				英語で開講	備考
			一年次	二年次	三年次	四年次		
グローバル教育科目	Field Study of Food and Environment※4	2	L2				○	【一般】common 全学生推奨 (recommended for 1~4Year students)
	Sustainable Agriculture in Asia※4	2	L2				○	
	Group Approach to Food and Environment※5	2	L2				○	
	インターナショナル・スタディーズ(一)	2	F2					特定の条件を満たした 者のみ履修できる科目 (P.70参照)
	インターナショナル・スタディーズ(二)	2	L2					
	インターナショナル・スタディーズ(三)	2	L2					
教育科目 日本語	中級日本語(一)	2	F2					オンラインで開講する。
	中級日本語(二)	2	L2					
リメディアル科目	基礎生物	2	F2					実施科目は所属学科による。
	基礎化学	2	F2					
	基礎数学	2	F2					
	文章表現	2	F2					
題特別 科目	特別課題	1				1		詳細は学生ポータルで 掲示予定。

※4 当該科目は隔年開講である(\*「世界学生サミット」(注)が海外で開催される年度は開講しない)。開催の有無については、4月に学生ポータルに掲出するので確認すること。(担当課:グローバル連携センター)

※5 「世界学生サミット」の座長または発表者のみが履修できる。

## 1) グローバル教育科目 (Global Education Program) :Agriculture, Food and Environment

## ①内容

本学では、多数の留学生および海外協定校からの交換留学生を受け入れており、本学の高度な専門教育を効率的に学習させるためには英語による授業が望ましいと考えています。さらに、国際社会に飛び立つ日本人学生にとっては英語で専門分野を理解する能力が不可欠です。このようなグローバル化時代に対応した大学教育の必要性から本プログラムを実施します。

本学は、食料、環境、健康、資源エネルギーという人類の課題に対して、農学および関連領域から貢献する人材の育成を目指しています。3キャンパス6学部23学科体制の下で専門的な教育研究を実施し多大な成果をあげてきましたが、これらの課題は相互に関連するもので、学際的アプローチも重要です。たとえば食料問題は食料の生産・分配・消費に関する諸問題の総称ですが、食料生産は農業や食品加工業によって遂行され、自然環境、農業技術、食品加工技術などと深く関わってきます。分配は市場経済メカニズムだけでなく保蔵技術の改良によって流通範囲が拡大しつつあります。消費には所得水準のみならず地域固有の食文化が反映されます。

近年の人口増加に見合う食料の増産は現代農学の顕著な成果でしたが、同時に環境負荷の増大や食の安全性の危惧が表面化してきました。今日、環境保全や安全食料の確保の必要性が世界的規模で認識されています。そこで、農業、食料、環境について、広義の農学的視点から基礎知識の修得を目指す全学共通プログラムを開講します。

まさに、食料と環境についての基礎知識を総合的に修得することは、人類繁栄に貢献することにつながります。国際的な活動を志向する日本人学生の英語力と専門的知識の向上を図るとともに、留学生や海外協定校からの交換留学生にとっては、日本や世界の食料・農業・農村・環境・文化を概観できる機会となるよう講義・見学などの内容に配慮します。

## ②注意事項

- ・ インターナショナル・スタディーズ (一)～(三) 以外の科目は、すべて英語によって実施します。単に語学教育のプログラムではないので注意してください。
- ・ 本プログラムは、比較的やさしいレベルの科目 (【初級】 Basic) からより高度なレベルの科目 (【上級】 Advanced) まで開講されています。必要とされる英語力の目安は、初級がTOEIC 300点程度、中級がTOEIC 400点程度、上級がTOEIC 500点程度となりますので、自分の英語力にあわせて履修を検討してください。学年を問わずいつでも履修できますので(※一部の授業を除く)、英語能力アップを図った上で履修が可能です。
- ・ 本プログラムは全学科を対象としたオープンプログラムです。  
フィールドスタディ等学外で実施する科目を除き、当面の開催場所は以下のとおりです。

## 【開講場所】

Global Bioindustrial Studies	北海道オホーツクキャンパス
Ecology and Agricultural Production	厚木キャンパス
その他の科目	世田谷キャンパス

- ・ 視察、演習、実験・実習およびフィールドスタディは、実費を徴収します。
- ・ その他詳細は、「国際教育プログラム」(P.68～71) を参照してください。

## 2) 日本語教育科目

## ①内容

本学では、外国人留学生および帰国生のみを対象に日本語を学べる授業を開講しています。本科目は、自分のレベルに合わせて難易度を選択することができるため、外国人留学生および帰国生は本科目を履修することを推奨しています（詳細はシラバスを参照してください）。

## ②注意事項

- ・履修を希望する場合は、学生教務課窓口までお越しくください。

## 3) リメディアル科目

## ①内容

本学では、多様な入試制度で入学する学生の学力の状況を踏まえ、入学から卒業までの基礎知識を向上するための科目としてリメディアル科目を開講しています。入学当初のガイダンス期間で高校までで学んだ知識を問う試験を全員受けてもらい、所属学部・学科が設定する基準に満たない場合のみ、本科目を受講しなくてはなりません。

## ②注意事項

- ・年度当初に受講対象者として決定した場合、対象学生は指定の授業に出席しなければなりません。
- ・他学部・他学科の科目は履修できません。
- ・リメディアル科目は、卒業要件単位数やGPAには含まれません。

## 4) 特別課題科目

## ①内容

本学では、キャンパス・専門分野を超えて、特定課題を多様な視点から学ぶ認定コース制度を設定し、実社会で通用する実践教育を推進します。具体的には、特別課題のコース（例：ガストロノミーマイスター、アントレプレナーマイスターなど）を設定し、これに関する各学部学科配当の関連科目を修得（2～3年次）するとともに、特別プログラムに配当する特別課題（4年次）を修得することにより、本学が当該コースの修了を認定します。

## ②注意事項

- ・他キャンパスの科目は遠隔授業で開講します。
- ・履修手順や実施内容等の詳細は、決まり次第、学生ポータルにてお知らせします。